

教育振興会だより

令和 3 年度活動報告

- ① 教育懇談会の開催 11月18日
テーマ「上灘教育と倉吉市教育振興基本計画」
倉吉市教育委員会学校教育課 山本指導主事、上灘小学校長 山名毅
- ② 地域ぐるみによる小・中学生の健全育成
○東中学校（上灘地区）保護者教育懇談会 6月 中止
・うわなだ桜まつりへの協力と参加 3・4月
万燈設置・撤去作業に PTA・生徒が参加 (40名)
○上灘地区社会福祉協議会との共催事業
・老人クラブとの交流学习会（1・2年生との昔遊び）9月 中止
・福祉交流会（3・4年生とのもちつき大会）1月 中止
- ③ 上灘地区青少年健全育成協議会との共催事業
・自然を楽しむ会 7月18日
・上灘地区青少年スキー教室 2月 中止
- ④ 教育諸条件の整備 ・花壇整備・花の苗 12月
- ⑤ 関係諸団体との連携 うわなだ未来塾の実施協力 11月13日
- ⑥ 子どもたちを守る活動への協力
・地域安全パトロール・うわなだ110番 協力店募集・ステッカー配布
- ⑦ 「うわなだ子ども風土記」の映像化について
【朗読】青木夫妻・花みずき、【映像】森脇幹雄さんの協力で作成
学校・各町公民館に配布、地区の皆様に販売 500円
- ⑧ 会報の発行について 第32号 3月中に発行。
- ⑨ その他 通学路の除雪など

元気に育てよ 上灘っ子

会長 福井伸一郎

コロナ感染症のワクチン接種が進み、ようやく収まりかけたかと思った矢先、第6波オミクロン株の爆発的な流行で、大きな影響を受けています。

そんな中、上灘地区教育振興会は活動報告にもありますように、やれることを考えるという方向で、皆様のご協力により多くの事業ができました。深く感謝申し上げます。

教育懇談会は、役員さんだけの参加でしたが、倉吉市教育振興基本計画の改定に伴う上灘の教育の求めるものを学び、参加者で意見交換をしました。本年度の特長的な活動に、「うわなだに伝わる話」DVD の作成があります。30年前に発刊された「うわなだ子ども風土記」を映像化して、次の世代へとつなぐことができました。

日々の活動の交通安全指導員さんによる毎朝の交通指導、地域安全パトロール等に頭が下がります。また、「うわなだ未来塾」では、厚生病院の協力がおもしろくうれしいものでした。

上灘の子ども達が元気に育つよう応援しましょう。



うわなだ未来塾
厚生病院へリポートから
上灘地区を見下ろす

「自然を楽しむ会」事業(活動)報告

上灘地区青少年健全育成協議会 会長 山口大助



7月18日(日)大山を拠点に「われらわんぱく探検隊！アウトドアを楽しもう♪」と題し自然を楽しむ会を実施しました。当日は、天候に恵まれ絶好の活動日和となりました。午前は大山青年の家で野外炊飯、午後は阿弥陀川で谷川探検(沢登り)を楽しみました。

野外炊飯では、班に分かれてジャンバラヤ(パエリア)を作りました。食材を

切る係、薪を割って火をつける係、食器を並べて配膳する係りなど学年が違っても高学年のリードのもと、お互いが協力し合い自主的に活動できました。さすが上灘っ子です！気になる出来上がりですが、炊き上がりのお米の硬さや切った食材の大きさの違いなどそれぞれの班で個性や味の違いが出ていました。別の班と食べ比べしている人もいて楽しく美味しくいただきました。最後は皆で炊事棟の清掃をして、いよいよお楽しみの午後の活動、沢登りの準備です。

お楽しみの沢登りでは、大山青年の家の職員の方を先頭に冷たい川の中を服が濡れることお構いなしで楽しみました。川の冷たさや足下の悪さに慣れず恐る恐る進む子、川の中の石に足を取られ転んだりする子もいます。だんだんと慣れてきて軽快に沢を進んでいけるようになりました。途中、水深のあるところでは、ずぶ濡れになりながら泳いでいる子もいました(笑)。

昨今、新型コロナウイルスの影響でいろいろな活動が制限されストレスが溜まりやすい状況下ではありますが、参加者それぞれが感染対策のルールを守り、思う存分自然を楽しむストレスの発散ができました。また、ルールを守る大切さ、自然の中の危険予知や楽しさなどを学べた会となりました。

東中学校 PTA 活動報告

倉吉市立東中学校PTA上灘地区会長 森脇幹雄

今年度も昨年度と同様にコロナウイルスの影響を受けて思うように事業を進めることができませんでしたが、うわなだ桜まつりへの協力と参加、上灘地区の保護者教育懇談会を計画いたしました。

うわなだ桜まつりの万燈設置、撤去作業に生徒と保護者40名で参加させていただきました。参加した子供たちは活動を通じて、地域の方と協力し、地域に触れあうよい経験になったのではないのでしょうか。この経験が地域で行われる様々な行事の参加に繋がり、これからの地域の盛り上げ役としての役割を果たしてくれたらと思います。

6月の地区懇談会は校長先生に学校の方針などをより詳しくお聞きし、学校との協力関係を築き子供たちの学校生活がよりよいものになればと考えておりましたが、コロナウイルスのため中止となりました。

来年度も東中学校上灘地区の会長として活動させていただきますが、これからはWITHコロナでPTA活動を進めていかなければならない時代がすでに来ています。コロナだからすぐ中止するのではなく、何かしらの知恵を



絞り出しコロナ渦の中で活動できる環境を作る手助けができれば幸いです。上灘地区の一大イベントである賑やかなうわなだ桜まつりが開催され、東中学校 PTAとして地区の盛り上げ役として生徒と共に協力できることを願っております。

令和3年度 教育振興会 教育懇談会 報告

1月18日(金)、教育懇談会を開催しました。今年度は、「第3期 倉吉市教育振興基本計画を踏まえた上灘教育をめざして」というテーマを掲げ、当日は22名の方に参加していただきました。

まず、倉吉市教育委員会学校教育課 山本千恵指導主事においでいただき、「第3期 倉吉市教育振興基本計画」について説明をしていただきました。基本計画の中で、特に、学校教育に関係する内容について、倉吉市の各地域での具体的な取り組みを交えながらわかりやすく話してくださいました。

【※倉吉市教育振興基本計画は、倉吉市のホームページに掲載されています。】

次に、上灘小学校 山名毅校長先生に、上灘小学校の取り組みを話していただきました。説明と同時に、学校の様子も写真で提示していただき、日々の元気な子どもたちの姿を見ることもできました。

後半では、うわなだ子ども風土記のDVDを視聴しました。風土記の絵と共に、語り部の方の上手なお話により、参加者全員が引き込まれました。

最後の意見交換では、各団体での取り組みについて話し合いました。コロナ禍で実施できない取り組みもありますが、上灘地区がつながっていき、みんなで子どもたちを育てていこうという思いで取り組まれている活動ばかりでした。



ヨットが進むように生きる

「上灘小学校教育のめざすもの」

倉吉市立上灘小学校 校長 山名 毅

「生きる」ということ。

たのしいこと、うれしいこと、エネルギーがみなぎること、たくさんあります。一方で、苦しいこと、つらいこと、逃げ出したくなること、立ってられないくらいに悲しいこと、これまたたくさんあります。

全部ひっくるめて「生きる」ということなのだと思います。

ヨットは、追い風るときはもちろん、横風るときも、なんなら、向かい風るときも、帆と進行角度の調整しだいで前に進むことができるのだそうです。

がんばりすぎや がんばり続けることは よくないけれど、いつだって顔を上げて、前へ前へと進もうとすることは大事だと思っています。

「ヨットが進むように生きる」。

「なかなかいいなあ」と思っています。

学校教育に限らず、家庭教育も含め、教育の課題が山積している昨今です。加えて、新型コロナウイルス感染症、自然災害等、子どもたちの成長にとっての横風や向かい風は、その勢いを増しているようにも思われます。

そんな中であって、「ヨットが進むように生きる」。

上灘小学校は、学びにおいても、心の育ちにおいても、健康な身体と安全な暮らしにおいても、そして、地域を愛し愛される人になることにおいても、いかなる風もすべて前進への力に変えて伸びていく、子どもたちを育てるための教育を今後も充実させていきます。

地域の皆様の想いやご支援は、有形であれ無形であれ、上灘小学校教育にとって、常に追い風であり、感謝しております。

今後ともどうぞよろしくお祈りします。



「うわなだに伝わる話」の世界を 旅してみませんか

昭和町 青木勇嗣・雅子

私たち夫婦は、2013年の7月に、妻の故郷である倉吉市昭和町に移住してまいりました。8年の月日が流れて、すっかりここ上灘地区のたおやかな空気に慣れ親しみつつあります。夫婦ともに第二の人生を考える中で、互いに朗読というジャンルに興味を持ち、地元の朗読ボランティア「花みずき」の会員となり、日々精進活動することになりました。

いろいろな分野の本を散策するうちに、やはり上灘の昔話を取り上げてみたいということになり、「うわなだ子ども風土記第1集～第3集」に辿り着きました。その中から、一話とか二話とか、少しずつ取り上げて、上灘公民館で発表することがありました。朝の読み聞かせで小学校へも行きました。

この度、第一集の全話をDVDに収録する機会をいただき、取り急ぎ読了しました。完成したDVDを鑑賞させてもらうと、とても分かりやすく、ほのぼのとした味わいが感じられました。内容も、民話や昔話、史実に基づく歴史物とバラエティに富んでいて、しかも話す方言が絶妙のタイミングで入り、とても味わい深いものがあり、飽きることはありません。

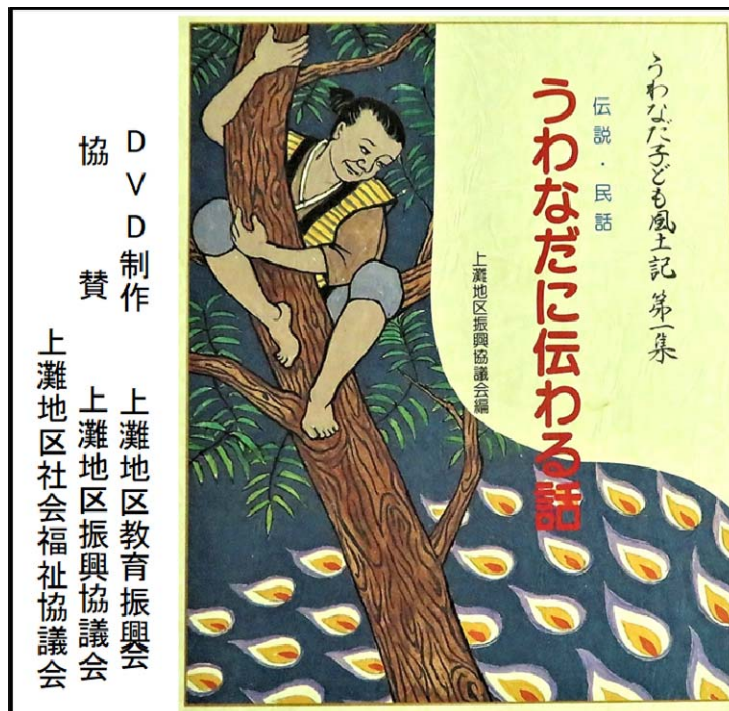
これは、是非とも子どもや孫たち、そしてその次の世代へと語り伝えていき、子どもたちが誇りをもって上灘の土地を愛してほしいなと強く思います。

どうぞ老若男女、幅広い皆様一人でも多くの方に「上灘に伝わる話し」をご覧ください、想像の世界に旅立ってほしいと思います。

「うわなだに伝わる話」とは

「うわなだ子ども風土記」は、30年前に上灘地区振興協議会が、ふるさと上灘のことやこの地に生きた人のことを知り、ふるさとを愛する人になってほしいとの願いを込めて作られました。百年前に上灘小学校峰地光重校長先生が収録された話をもとに、江島嘉治さん(上灘町)と酒井俊和さん(米田町)が絵を描かれ、河本光雄さん(東巖城町)を中心にそれぞれの町の人が話にまつわる思いを話し作成されています。また、峰地先生は上灘小学校の校歌も作詞しておられます。

「うわなだに伝わる話」には、金の鶏・土手の草と神様(下田中町)、田内の岩阿弥陀さん・亀姫・米で馬を洗った話・きつねのそうれん(田内町)、弁慶岩と足跡さま・こずきばあさん・円谷の狐・塩イワシときつね・ほうかあ山のさん助と寺山のこそろばん(円谷町)、大六橋(駄経寺町)、三明寺の鼻高(三明寺東)、駒姫(三明寺西)、小林一族の菩提寺・小林寺(米田町)の15の民話と地域の皆さんの解説が収録されています。



DVD「うわなだに伝わる話」を 販売します

上灘地区教育振興会の本年度事業として、30年前に作成された「うわなだに伝わる話」のDVDを制作しました。

作成にあたっては、青木勇嗣・雅子さん(昭和町)と「朗読花みずき」が朗読を、森脇幹雄さん(米田町)が映像制作を担当していただきました。

上灘地区振興協議会・上灘地区社会福祉協議会の協賛により **500円で販売**いたします。ご希望の方は、上灘コミュニティーセンターへ申し込みください。

連絡先 0858-22-0640